

区政会議の質問・意見に対するその後の対応

資料3

R4.6.28 時点作成

番号	年月	意見	対応
1	令和4年3月 第3回区政会議	今後、公園や緑陰道路でイベントを開催したい時に、管理事務所などとの調整も必要であり、難易度が上がってしまうと思うが、区の支援策などはあるか。	民間企業等との共創事業であれば、イベントの実施場所について区役所が関係部署との調整を行います。ただし、道路など安全上の問題などにより必ずしも希望通りになるとは限りません。また現在、共創事業の一つとして「第1回にしよど青空コンサート」を区役所 地下1階 サンクンガーデンで7月17日に開催予定ですが、今後は公園や緑陰道路での開催も検討しております。
2	令和4年3月 第3回区政会議 (グループ討議)	廃油回収(家庭の廃油を石鹸にする)など、すでに民間・地域で取り組んでいることを出しあい、広げていくのがわかりやすいかと思う。	廃油回収については、新たな回収拠点などの募集記事を広報紙7月号に掲載し周知に努めました。
3	令和4年3月 第3回区政会議 (グループ討議)	地域に関心を持ってもらうために、西淀川区のいろいろな歴史について魅力発信サポーターなどで西淀川区のクイズをつくり、まち歩きに活用したらどうか。	今年度、地域団体等との共創事業により歴史散歩を実施する予定です。 また、魅力発信サポーターとの連携も検討していきます。
4	令和4年3月 第3回区政会議 (グループ討議)	(脱炭素化など)SDGsによって業績がよい企業は多く、大野川緑陰道路をシンボルロードにするなど、SDGsで盛り上げていくというのはチャンスだと思う。	SDGsで盛り上げていくことは、西淀川区における取組みや魅力を多くの方に知っていただく良い機会と思いますので、区内企業のSDGsの取組紹介を区ホームページで行い、気運の醸成を図ってまいります。 また、新たに募集チラシを作成して、志のある企業と共創し、SDGsの普及を目指していきます。
5	令和2年11月 第2回区政会議 ・ 令和2年運営方針への意見シート	災害の備えで、避難所でのスペース確保やパーティションの充実を実現してほしい。	コロナ禍で避難スペースの確保やパーティションの重要性が再認識されたことを受け、引き続き、学校等施設管理者に避難スペースの確保・拡充に努めていきます。 またパーティションを、令和2年度に全23避難所に8個ずつを基本に配備したほか、令和3年度にも14の避難所に10個ずつを基本に配備し、令和4年度に残りの9の避難所に10個配備する予定です。
6	令和3年12月 第2回区政会議	若年層の意識改革というところで、運営サイドとして活躍してもらうのも一つの手であると思う。 防災ボランティアから始まり地域の担い手につながっていく制度も提案したい。地域での居場づくりにもつながると思う。	
7	令和3年12月 第2回区政会議	子どもたちを巻き込んで防災の取組をもっと広げ、地域の防災リーダーになってもらえるような育成というところに力を入れていただきたい。	若年層、子どもたち、中学生・高校生に一層の防災啓発を行い、災害時に活動の担い手になっていただくことは、災害に強いまちづくりを進める上でも大切だと考えています。いただいたご提案を踏まえ、令和4年4月から「地域防災・減災に関する連携強化事業 業務委託」を実施し、若年層を対象とした防災イベントの企画運営や防災意識向上のための啓発ツールを作成します。
8	令和3年12月 第2回区政会議	防災に関して、平日の日中に戦力になるのは、中高生。各学校で防災訓練をされているとは思いますが、地域と学校で合同で訓練もできたらと思う。	具体的には、西淀川区モデルの防災教育プログラムを作成し、防災授業実施の支援や、防災さんぽ、防災パーク、防災カフェといった防災イベントの実施、動画広報物の作成などを計画しています。
9	令和3年12月 第2回区政会議	防災の取組では、実際にシチュエーションすることが大事だと聞く。若年層の防災意識というところで、放課後など習い事やスポーツ活動をしている時に防災意識を持ってもらうため、塾やスポーツ団体に協力してもらい、防災訓練や指導者からハザードマップの案内をしてもらうなどの活動ができればいいと思う。	